不材の利用

± 0

後の施策の参考とすることが目的です。 公表されました。 閣 府 が平成23年12 この世論調査は、 月に 実施 た「森林と生活に関する世! 森林と生活に関する国民の意識を把 L論調査 」 一が2月18 握 日に 今

森林へ 一森林づくり ഗ് 親 ਮ੍ਰ 森林の役

上 過 92 2 口 の高 去5 |答者 % を か 感 61 口 5 0) じ 値となり 0) 減 87 7 調 少 % お 査を ĺ が ŋ 7 ました。 森 通 1 じて 前 林 る 日 b 85 調 0 \mathcal{O} 査 親 % 0 \mathcal{O} L

森 林 期 待 す る

は、 暖化防-を上 働 48 とな き % 口 災 止 が ŋ 0 害 7 地 防 45 1 第 球 % 止 1 温 50

空気をき を る 順 41 騒 蓄 れ 働 13 音 以 % え 13 き な る 下 【図1】森林に期待する働き 48.3 山崩れや洪水などの災害を 防止する働き 485 二酸化炭素を吸収する 45.3 54.2 防止に貢献する働き 40.9 水資源を蓄える働き 43.8 37.3 空気をきれいにしたり 騒音をやわらげる働き 38.8 心身の癒しや安らぎの場を 提供する働き 27.7 住宅用建材や家具、紙などの 原材料となる木材を生産する 働き(注2) 236 貴重な野生動植物の生息の 場としての働き 20.8 22.1 193 18.0 きのこや山菜などの林 産物を生産する働き 12.6 10.6 その他 0.2

水資

源

き

37

% 5 ŋ

0

わ

げ

ポ る n 働 イ ま き L た。 } が 増 前 ま 加 口 調 24 査 % 木 15 لح 材 % なり を か 生 5 ま 産 9 す

)森林整 とえ経済効率 土保 き」との 能 が 全、 高 備 回答が69%を占めまし 度 0) 災 あ 八害防 が n 発 方に 低 揮 止 . خ など さも n 0 13 るよう、 0) 7 備 公 は、 益 す ~ た的国

た。 図

公 療 校 54 57 学校 共 利 ベ 施 施 % % 施設 用 設 n 設 K \mathcal{O} 0 台 Þ 0 校 P 口 な 幼 福 11 61 答 舎 設 کے 7 稚 祉 % な 備 が 0) は、 溒 شط 施 多 $\overline{\ }$ 遊 等 0) \mathcal{O} < 設 具 \mathcal{O} 矢 学 小 木

用に 木質 13 が n まし] ポ 前 ŋ 源 0 バ イ 口 ŧ لح 11 調 1 7 1 オ 査 は、 7 図3 増 マ 48 0 加 ス % 利 図 0) 工 活 4 利 61 か ネ 用 % 5 ル 活

今回調査

特にない

わからない

0.9

0.4

平成19年5月調査

(注2)平成19年5月調査では、「木材を

生産する働き」となっている。

(注1)3つまでの複数回答

住宅を建てる場合 と答え、 や性能 木造 が 良 住 宅 耐 を選ぶ際 0 久性 工 法に 0 優 13 価 13 れ 格以 7 7 は 11 ること」 外 81 で % 重視 が 木造 68 するも % 住 宅を選 0 غ 健 康に び て、

また、 査 口 れ た。 た材料 増 7 答 ること 35 が 加 61 % 多く ること 図2 L 玉 か が 40 産 、なり % 5 用 材 67 لح 5 が が 61 % ま な ポ 5 前 用 لح n n イ 口 13 ま 調 \mathcal{O} 7

【図2】木材利用についての意向 70 80 (%) 60 68.4 品質や性能が良く、耐久 性に優れていること 67.6 健康に配慮した材料が 用いられていること 66.7 70.6 国産材が用いられて いること 39.8 34.8 リサイクルしやすいなど環境 に配慮した製品が用いられて いること 34.1 使用する木材の種類や産地 費用が明らかであること 21.0 22.9 植林や手入れが適切に行われ ている森林から生産された木 材が用いられていること 16.7 欲しいときにすぐ購入 できること 5.6 今回調査 0.1 平成19年5月調査 その他 0.3 (注)建てたり、買ったりする場合に 1.0 選びたい住宅を「木造住宅」と わからない 答えた者に質問、複数回答

【図3】公共施設への木材の利用 60 70(%) 小学校や中学校の校 舎などの学校施設 61.0 病院などの医療施設 56.8 や老人ホームなどの 福祉施設 幼稚園などや公園にある すべり台などの遊具 54.3 花壇、柵やガードレー ルなどの道路沿いに ある施設 32.8 スポーツ施設や図書館 などの社会教育施設 32.7 25.0 ル設で電単など 公共機関の内装 その他 0.3 特にない 2.9 わからない 0.9 総数 (注)複数回答

た

13

묘

配

慮

◎トピックス「森林と生活に関する世論調査」の概要

50 60 I 70

49.4

52.5

今回調査

(注)複数回答

平成19年5月調査

択肢新

設

が33%で続きました。

80 90(%)

9.6

76.1

【図5】地球温暖化防止のための森林対策

225

21.1

4.7

3.6

02

0.3

3.9

2.3

その他

わからない

国際的な約束であるから

国や地方公共団体が主体と なって森林の整備を進める

く情報を提供して国民の 広い参加や協力により、 林の整備を進める

森林所有者自らの取 り組みを主体に森林 の整備を進める

現状のままで、できる範 囲のことをすればよい

し政 球 環境 府が取り組む 問 題 と森林に Ŋ 、き方策

地球温暖 地 林 次に多く と答え、 な 整 整 が 約 林 球 主 束で 備 備 整 温 体となって森林整備を進 0 備 を 暖 %化防 費 なりました。 進 あ 13 化 玉 用 8 るから、 0 防 民の参加や協力に 止対策としての今後 負担 る 止対策 13 ては、 13 49 0 玉 لح % と 図5 13 76 や 7 % 地 7 は、 が 0) 方 0 今 より 公 回 国 8 共 国 答 際 後 0 る 民 森 寸 森 が 的 0

ガス た。 民が負担する 全 体 へを排 玉 また、 :で 負 民 全 茁 担 体 する する 玉 間接 産 割 44 材 合に 的 製製 % 44 に負 %) 논 品 が 応じて *多く 0) 担す 購 温 企業 なりまし る を 室 増 効 Þ 選 果 P 玉

【図4】木質バイオマスの利活用方策 50 60 70 (%) 40 燃やして発電する、またはボー 61.2 で熱を利用するなどのエネルギー 47.6 源としての利活用の推進 細かくして堆肥や家畜の飼育舎に 44.3 敷く敷料としての利活用の推進 紙や木質ボードの原料としての 48.9 利活用の推進(注2) 394 の燃料としての利活用の推進 45.2 その他 今回調査 平成19年5月調査 1.7 特に利活用する必要はない (注1)複数回答 (注2)平成19年5月調査では、「紙や 5.3 ボード類の原料としての利活用 わからない の推進」となっている。

的

材

全体的な特徴

割合が同程度となって は肯定的 用の負担、 19年5月) に高 森林整備の必要性、 利用 いことがうかがえます。 0 な回答が多く、 の結果と比 木材利用の 国 民 0) 意 しおり、 識 林整 較 意義などにつ や期 しても肯定の 前回調査 森林 備に必要な 待 は 林 全 体 Vi

など

は、

用

成

森林に期待する働き

H

続き大きい 防止 本大震災や集中豪雨など 「災害を防止する働き」の第 国 のと思 調 ば 増 民 査 に貢献 の防災意識 加 室 わ して 成 と考えら する働き」 れ 15 年 12 ます。 おり、 の高まり いれます また、 月、 国 0) 民 割合は、 42 0) 0 が % 発生を 期 地 現 位)と比 れて 待 球 は は 前 温 受 較 東 引 々 暖 Vi は、

5

可

前

口

口

0)

れ

化 るも

物等 てきた結果と考えられ な 材 さら は、 木材 がることが 0) 利 木 用 利 づ 用促 か が 木材を生 森 13 理 運 林 進 が解さ 機能 法 動の効果や公共建 0 一産する れ 0 制 持 定に る 続的 ょ 動き う 加 発揮 え、 な 0 国 築 0 上

3 森林整備のあり方

公益的機能が高度に発揮され

るよう

な

※調査をしていない項目

0

するべ 待 済 効率 地 が 示され 山 き」との 林 球 0 温 崩 が低くても森 公 暖 れ 公益的 た結果と考えら 化 など 回答は、 防 止に貢 の災 機 能 (害を防 林の整 0 前 献 発 回 固調査 揮 す れ る働 正備を実 止 ます 0) する から続 きな 高 施 働 V)

4 木材利用

の

調

杳

結

果

から

うかが

る主な点

ること」を重視する割合は、 造住宅選定時に また、 は高ま 木 、て増 0) 材を生 学校: 促 0) いってい 利用 進 加 公共建築物などへ に向け 施設、 してお 産 を望 ると考えら す 国 Ź 医 た施 む ŋ 屋材 働 公療施設、 回答が多く、 3 木材 策を推 が用 0 れます 0) 利 前 割 福 回調 用 進 木 5 合 す 祉 材 n や 木 0) る 施 利 査 7 上 材 設 用 意 13 木 13

比

べ

る期待 能 さらに、 「エ 分に留意する必要があります 調査に比 エネルギ ネル の大きさがうか 木質バ ギー ベ 、て増 資源としての 源としての イ 才 加 してお マス が われ への利 利活 利 ŋ ます 用 活 用 再 用 対 生 が で

林整 、き」と れます。 化防止 広 国 正備を 地 13 球温暖化防止対策としての 参 地 13 画 推 う意 方公共 対 進 による森 でする関 する 識 八団体が も強 」ととも 林が 心 < 0) 主体と 高さがう くり 国 に、 民 の地 なっ を 森林対策 進 国 7 か 球 8 民 が 温 る 0 森

閣府 備を進 室効 多く使うことへの意識も現 お、 また、 論調査 果となっ 民 深果ガ ホ (全体)による負担 詳 め 費用負担につ る手法として、 ス排出者 をご ムペ 7 い調査結果については、 こ覧ください。 います。 ジ 「森林と生 による負担 13 さら ては、 が 国産 ほ ń 活 ぼ 7 原 材 同 と受益 に関 61 因者 製品 森 程 ま 林 度 す 内 を 整 0 者 温 る

http://www8.cao.go.jp/survey/h23, 123-sinrin/index.htm

【図6】森林対策の費用負担のあり方

